



《東京都中学校長会》

平成30年 9月 13日(木)

## 9月 会長だより

会長 小澤 雅 人

### 1 挨拶

今年の夏は、夏季休業前から例年以上に厳しい暑さが続き、夏季休業日前半は各地から記録的な猛暑の便りが届きました。各学校では、部活動や夏季プール指導等への熱中症対策・日差し対策等に追われたことと思います。

8月上旬に起きた2歳幼児の行方不明に際し、スーパーボランティアの方のご尽力により無事に幼児が発見される報がありました。「自分にできることを、ただ心から行い、何も求めず何もいただくことはなく。」ボランティアの神髓の言葉を耳にし、人間関係の希薄化や物欲的な社会の横行が叫ばれている今の時代に、とても爽やかで素晴らしい人生の先輩に出会った感がありました。ボランティア精神を生徒たちにどのようにして伝えていく術があるのか、どの様に心の育成を図っていくことができるのか……。模索中です。

夏季休業中、各校では補充教室、面談、水泳指導、宿泊行事や地域行事、部活動、夜間パトロール等に多くの先生方が関わり、生徒の健全育成にご尽力いただいたと思います。また、都教職員研修センター、各地区教育委員会、研究団体等が主催した研修会に参加され、研修を深められた先生方も多かったと思います。今夏から、働き方改革の一環として夏季休業中に学校閉庁日を設けられた地区も多く、さらに留守番電話対応など学校業務の見直し等が進められた地区も多くありました。今後の学校のあり方や学校業務の見直しへの契機の年となったのではないかと考えています。

今年度も本会では、夏季休業中も各種関連団体との連携を深める活動を行ってきました。副会長の皆様方にも協力いただき、諸会合に出席しました。(学年・学級経営研究会全国大会、東京都へき地教育研究協議会総会、東京都退職校長会五団体との教育懇談会、東京都教育管理職員協議会教育懇談会など)。また、7月の地区代表者連絡会でご検討いただいた「平成31年度中学校教育関係要望書」を、千葉教育対策部長とともに東京都教育庁総務部、都議会各会派に提出しました。特に重点事項として、教員の働き方改革に向け、中学校講師時数算定基準の見直しや改定を要望してきました。教員の週の持ち時数削減は、以前より要望事項として取り上げてきた内容ですが、改善には至っていません。文部科学省や東京都教育庁でも働き方改革の機運が高まっていますので、今後も関係機関と連携を深めながら、要望の実現に向け努力していきたいと思います。

2学期を迎え、まだ今年度の半ばを過ぎたところですが、人事考課の中間ヒアリングとともに、次年度の人事構想を練り上げていく時期となりました。また、教育課程に関わる様々な計画の申請時期も目の前に迫ってきました。夏季休業中にも本会としてなすべきことを着実に進めてきたところです。これまで様々な活動に快くご協力くださった関係各位に心よりお礼申し上げます。これからも本会の活動を活性化し、教育環境の整備に向け努力していきたいと思ひます。

### 2 当面の課題

#### (1) 平成31年度人事に向けて

各地区では、9月中旬から、平成31年度人事異動に向けた地区の異動説明会が予定されていると思います。夏季休業が明けたばかりとは言え、人事面ではすでに次年度に向けた動きが始まっています。ベテラン教員の定年退職に伴う大量退職の傾向はまだ続くようですが、

再任用職員の活用や教職員の定年延長も議論されています。

人事考課に伴う中間ヒアリングも、9月中旬頃から予定されていると思います。校長選考・管理職候補者選考の発表が5日（水）にありました。選考及び人事異動に関わる課題等に情報を密にしていきたいと考えていますので、どうかよろしく願いいたします。

## (2) 「働き方改革」に関する動き

7月の地区代表者連絡会及びその後のメール等で、今夏に予定されている「学校閉庁日」や夜間等の留守番電話対応に関する緊急の調査を行ったところ、多くの地区で実施されている実態が明らかになりました。また、来年度より都立学校においても閉庁日が実施される方針が発表されました。今後、各地区でも様々な制度改正や校務の見直しなどが進められ、学校の業務内容の見直しや学校がなすべき業務のあり方も問われていくことが推測されます。このことから、今まで以上に各地区、全校長の研究の重要性が問われると思います。各地区校長会や地区代表者連絡会を通じた意見交換、情報交換を進めていきたいと考えています。

## 3 連絡・報告事

### (1) 平成31年度に向けた動き

#### ① 教育庁・政党への「平成31年度中学校教育関係要望書」の提出

教育対策部を中心に作成いただいた「平成31年度中学校教育関係要望書」を7月26日に教育庁総務部に提出しました。また、東京都議会各会派には、日程の関係もあり7月25日の都民ファーストの会を皮切りに、8月1日に公明党、8月23日に共産党、9月3日に立憲民主党・民主クラブを訪問し、内容説明を行いました。また、自由民主党には文言を送付しました。特に、今夏の猛暑を受け、普通教室のみならず特別教室や体育館へのエアコンの設置、働き方改革との関連から、講師配当の算定基準ともなる、教員の標準授業時数の見直しに関する質問が多く出ました。

#### ② 教育長会への「平成31年度東京都中学校長会会費の予算化について」の提出

7月4日に町村教育長会会長日の出町教育委員会教育長小林 道弘様、都市教育長会会長武蔵村山市教育委員会教育長池谷 光二様、7月5日に特別区教育長会会長渋谷区教育委員会教育長豊岡 弘敏様を訪問し、「平成31年度東京都中学校長会会費の予算化について」を提出しました。各地区校長会からも次年度の東京都中学校長会会費等の予算化について、地区教育委員会への協力要請をお願いします。

### (2) 各部・委員会からのアンケートへの協力

#### ① 研究部調査

夏季休業中に、研究部のアンケート調査へのご協力をお願いしました。8月末現在で99.7%の回収となりました。このデータを基に、11月の研究大会の発表に向け、研究部で分析・研究を進め、成果発表をしていただきます。各学校の校長先生方のご協力に、あらためて御礼申し上げます。

#### ② 生徒指導部調査

上記の研究部調査に続き、13日（木）の地区代表者会で、9月中旬から始まる生徒指導部のアンケート調査をお示しさせていただき、協力をお願いします。各学校とも秋の学校行事等でお忙しい時期だと思いますが、本調査にもご協力をお願いします。特に、来年度から進められていく特別支援教室に関わる調査もありますので、今後の各校の学校運営に資するためにもよろしく願いいたします。